

# 8月1日からの変更で 運転士も車掌も大変ダウ

N 3 2

2 0 1 0 . 8 . 9

J R 東海 労 東 二 運 分 会

## 乗務員のみなさん

7月は、の訓練で運転取扱いに関する変更が徹底され？ 新旧入り混じった「マニュアル」で運転士も車掌も大変な乗務だと思えます。

運転士は、運転整備時に運転台に置いたマニュアルと睨めっこしながら汗を流したと聞きます。何で緊急リセットのやり方がこうなるの、とか。車掌は、車掌の発車三原則って何処から何処までだ？ここは指差喚呼であそこは喚呼だけ、とか。

一体、今までの基本動作は何だったのかと、つい口から出そうになったのを皆さんは何度我慢しましたか。その程度ならまだしも、しまった、と周りキョロキョロ、胸ドキドキ、とした事もあったのではないのでしょうか。ヤレヤレですね。8月1日からは本番です。

ところで「JR 東海」8月号の吉川事業本部長への取材記事を見ただでしょうか。まだ見ていない人のために一部を紹介します。

「規程やマニュアルは、本質を具現化したもの、効率的に表現したもの」「本質が変われば、当然規程やマニュアルも変えていく必要があります」と説明しています。本質とは「業務の本質」だそうですが、残念ながらその「業務の本質」とは何かは具体的ではありません。

なるほど。これなら今までの基本動作やマニュアルを全否定し、本当に仕事を知っているのか？ と思うような「マニュアル」が出来上がります。例えば、車内の座席から見た発想だったり、〇〇課会議の結論結果なら当人たちが納得いく「マニュアル」でしょう。

でも規程やマニュアルを勝手に、一方的に変更しておいて、何か意見があったら乗務報告書の書いて、では順序がおかしくありませんか、て言うことですよ。職場ではこれまでもそうでしたが、訓練で意見を言っても時間がないので後で〇〇科に来て、とか提案にして出して、と言われて終わっています。最初から聞く耳を持っていないと理解したほうがよさそうです。なぜなら。ものを言えば災いの元になりかねませんので・・・が、皆さん、我慢しますか？

「暑くとも 唇熱し 物言って」 C D 頑 爺